

琵琶湖定点定期観測結果速報(令和5年6月)

数値は速報値であり、確定値ではありませんので、ご留意下さい。

調査年月日 令和5年6月12日

調査地点 彦根市～高島市安曇川町に至る5地点
(ただし、湖岸水温は彦根市八坂町
滋賀県水産試験場地先における測定値)



調査地点図

調査結果

平均値 … 5地点の平均値

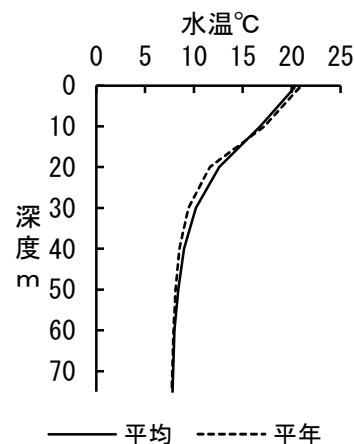
平年値 … 透明度、湖水温、湖岸水温、プランクトン沈殿量は1991年～2020年(平成3年～令和2年)の同時期調査の平均値

DO(溶存酸素濃度)は2013年～2022年(平成25年～令和4年)の同時期調査の平均値

1. 透明度 6月平均値 5.2m 平年値 5.8m

2. 湖水温 (°C)

深度(m)	6月平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
0.5	20.3	20.8	-0.5
10	16.8	17.2	-0.4
20	12.6	11.6	+1.0
30	10.2	9.4	+0.8
40	9.0	8.5	+0.5
50	8.4	8.1	+0.3
60	8.0	7.9	+0.1
75	7.8	7.7	+0.1



3. 湖岸水温 (°C)

月(旬)	平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
5月下旬	18.3	17.3	+1.0
6月上旬	19.4	19.1	+0.3
6月中旬	21.7	20.6	+1.1

4. プランクトン沈殿量 (ml/m³)

水層 (m)	6月平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
0~10	47.4	16.4	+31.0
10~20	11.9	6.0	+5.9
20~40	2.6	2.2	+0.4
40~75	0.7	0.8	-0.1

(プランクトンネットNXX14使用)

5. 表層のプランクトン優占種

○プランクトンネットNXX14による採集(植物:未固定 動物:5%中性ホルマリン固定)

植物プランクトンは、全ての地点で*Micrasterias hardyi*(ミクラステリアス:緑藻)が細胞数でも量的にも最も多く認められた。

動物プランクトンは全ての地点でCyclopidae(ケンミジンコ科:カイアシ類)のものと思われるノープリウス期幼生が個体数密度で最も多く認められた。



Micrasterias hardyi



ノープリウス期幼生

6. DO (溶存酸素濃度: mg/L) 多項目水質計による測定値。ただし平年値(参考値)はウインクラ法による測定値。

深度 (m)	6月平均値		平年値(参考値)		平年差	
	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)
0.5	11.1	122.7	9.9	114.0	1.2	(+8.7)
10	10.2	103.8	10.3	112.1	-0.1	(-8.3)
20	10.0	93.5	9.8	93.3	0.2	(+0.2)
30	9.8	87.5	9.8	89.2	0.0	(-1.7)
75	8.4	70.6	8.0	69.8	0.4	(+0.8)